



No. 6

2021年1月
[編集・発行]
上内田地区まちづくり協議会 広報部



広報

ふれあい 上内田



おめでとう
おめでとうございます

令和三年



本年もよろしく
お願い申し上げます!

登
苑
退
散



笑門福来

- 新年のご挨拶 ②
- 祝 新成人 ③④⑤⑥
- 上内田 活動風景いろいろ ⑦⑧
- ふる里再発見 〈第6回〉 下板沢 ⑨⑩
- 編集後記 ⑩



新年のご挨拶

上内田地区まちづくり協議会

会長 北 浦 充

新年あけましておめでとうございます。

2021年、令和3年の幕開けです。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと思います。

上内田地区まちづくり協議会は発足から5年目を迎えていますが、日頃から事業活動には特段のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年世界的な新型コロナウイルス感染症の流行で、皆様も新しい生活様式を余儀なくされたことと思います。しかし上内田地区の感染者はゼロで、これは日頃の皆様の予防対策の徹底・習慣付けの賜物と考えます。

感染症の予防は、**各自が感染症にかからない行動を日常的に取る**ことが基本になると言われています。また、健康であっても自らが感染者である可能性を意識し、**常に他人に感染させない行動をとる**ことが大切とも言われています。

年が変わっても終息の兆しが一向に見えない状況です。引き続き油断をせずに予防対策の徹底をお願いいたします。

協議会の事業活動については、上内田が他地区に自慢できるイベントのすべてが中止となり、大変寂しい思いをされた方が多いと思います。

そんな中、防災力の強化を念頭に置いた、地区自主防災会の自立化の足固めが出来、女性の活躍を促す女性のための防災講座を開催しました。

また、情報発信部が進めている上内田独自のホームページは、開設し試行段階を経て新年度には本格稼働ができる見通しとなりました。地域の魅力・情報を発信し、活性化が進むことを期待したいと思います。

最後に、令和3年は何よりも新型コロナウイルス感染症が早期に終息し、県内外への往来が自由にでき、そして協議会のすべてのイベントが順調に開催できることをお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

《後書き》

新年のご挨拶ですので、本来であれば明るい話題にすべきでしたが、新型コロナウイルス感染症の話は避けて通れず、やや暗い文面になってしまいました。ご容赦願います。



祝 成人 おめでとう!

- ❁ 櫻井 康佑 さん
- ❁ 坂本 晃将 さん
- ❁ 児玉 郁実 さん
- ❁ 佐々木 嘉紀 さん
- ❁ 中山 敬斗 さん
- ❁ 原川 紘聖 さん
- ❁ 梶山 誠也 さん
- ❁ 望月 拓海 さん
- ❁ 原野 真輝 さん
- ❁ 藤森 遥斗 さん
- ❁ 堀川 光騎 さん
- ❁ 佐々木 奈未 さん
- ❁ 黒澤 愛加 さん
- ❁ 瀬川 夏鈴 さん
- ❁ 館石 まりん さん
- ❁ 角 皆垂 侑 さん
- ❁ 荻原 咲奈 さん
- ❁ 菅野 こまち さん
- ❁ 岩田 純佳 さん
- ❁ 岩崎 綺梨香 さん
- ❁ 丸山 帆乃香 さん
- ❁ 平野 亜美 さん
- ❁ 平野 文香 さん



上内田小6年時担任
石山千夏 先生



卒業記念 平成25年3月 掛川市立上内田小学校



成人式に寄せて 平成24年度上内田小学校 卒業生の皆さんへ



「Step Up! 自分と仲間と」を合い言葉に何事にも一生懸命取り組んだ6年生の時のことを覚えています。あれから8年。皆さん、きっと立派になったでしょうね。成人おめでとうございます。

皆さんは、私にとっては最後の学級担任だったので、今でもあの頃のことを鮮明に覚えています。特に、心に残っているのは、六送会と一迎会でやった「ワンピースの劇」です。台詞を考え、小道具を作り、何度も練習して登場人物になりきりましたね。また、「体育館中を海にしたい!」とたくさんの魚や海の生き物等を作って、飾り付けをしました。23人でやるには本当に大変でしたが、みんなで協力して、大成功をおさめました。「麦わらの仲間たち」に負けない、皆さんの最後まで諦めないパワーと仲間を大切にする心に感動したことを覚えています。

さあ、20才です! 成人です! 皆さんのよさや力を思い切り発揮し、今度は地域や社会という「新世界」で活躍してください。ずっとずっと、応援しています。

平成24年度 6年担任 石山千夏 (現在 菊川市河城小学校の教頭先生)



思い出 春・夏



佐々木奈未 櫻井康佑 阪本晃将 児玉郁実 黒澤愛加



佐々木高紀



瀬川夏鈴



館石まりん



角皆亜佑



中山敬斗



萩原映奈



原川結聖

うんきうんき!!

字が上手な人

- 1 かりんさん
- 2 あやがさん
- 3 あいがさん

かりんさんは、習字の時の字が
とても上手だし、ふだん書い
ている字もすごく上手だから
かりんさんを選びました!

S.Hさん

絵が細かくて上手なので
選びました。

A.T

絵が上手な人

- 1 まりんさん
- 2 まさきさん
- 3 すみかさん

- 1 いくみさん
- 2 すみかさん
- 3 たくみさん

いつもバカなことを
していておもしいから
えらびました。

K.S

本当に友達か
たくんいるだから

M.H

- 1 ママリさん
- 2 いくみさん
- 3 あいがさん

おとなしい人
1位 はるとさん
2位 こまちさん
3位 以下多数

いつも本ばかり
よんでるから、はると
さんになりました!

K.K

ほのかさんは
かわいい
から

N.S

早く、こんそうな人

- 1位 ほのかさん
- 2位 さくらしん
- 3位 いくみさん

リーダー的な人
1位 あいがさん
2位 せいやさん
3位 よしきさん、いくみさん

あいがさんは、
しかり者だから!

A.H

いもうたを
うたっているから
あゆさんに1びょう!

I.K

歌が
上手な
人

- 1位 あゆみ
- 2位 あやみ
- 3位 以下多数



菅野こまち 梶山誠也 岩田純佳 岩崎梨香



担任 石山千夏先生



望月拓海



丸山帆乃香



原野真輝 平野聖美 平野文香 藤森遥斗 堀川光騎

classmates

上内田

活動風景いろいろ

令和2年はポストコロナで大きなイベントは中止になりましたが、各部・各サークルはいつものように三密を避けながら、心は密に活発に活動しています。



毎日の通学見守り



7/5 食推協 メンズクッキング



6/9 ボランティア部 日除け建て



6/1 ボランティア部 草刈り



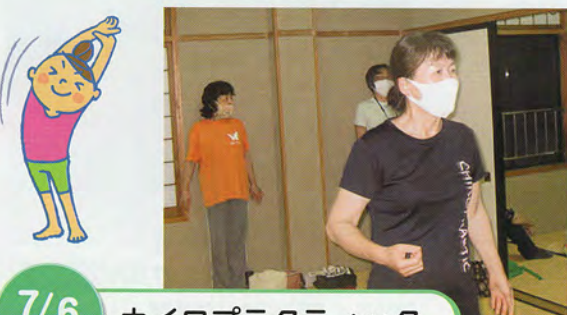
8/23 女性セミナー こけ玉づくり



8/7



切り絵講座 10/18



7/6 カイロプラクティク



11/7 いきいきふれあいサロン

良きことも 見ざる言わざる 聞かざるは 生きてる甲斐も 無きにあらざる

新渡戸 稲造



毎月の区長会



4/11
土

まちづくり協議会総会（三密回避）



7/8
水

防災部会



研修婦人部の皆さん



8/30
日

広域避難所訓練



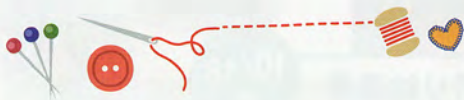
11/2
月

情報発信部部会



10/18
日

女性セミナー
手芸講座



10/17
土

第2回女性防災講座
民生委員さん御挨拶



7/26
日

第1回女性のための防災講座
講師：栗下防災部長

ふる里再発見

第6回

下板沢

今回は「板沢地区塩の道」と「板沢神社」「福田寺」についてご紹介します。

板沢地区塩の道について



「塩の道」というと、千国街道(糸魚川～大町～松本～塩尻)、三州街道(中馬街道：矢作川の舟運～豊田～足助～飯田～塩尻)がありますが、さらにもう一つ静岡県牧之原市相良を起点とし、飯田で三州街道と合流する秋葉街道があります。江戸時代、秋葉山の信仰が盛んになるにつれ、参詣の道ともなりましたが、当初は相良周辺で産する塩を伊那谷や諏訪へ運び、終点塩尻まで続く道です。

明治22年(1889年)東海道本線が開通しましたが、それまでは輸送機関は相良港に出入りする船しかありませんでした。そこから先、産物及び生活物資は相良街道を歩いて運び、ぼおら、もっこを天秤で担ぐか『いんが』で背負ったそうです。馬は米2俵を背の両側へ、括り付けて歩きました。

塩は醤油、みそ、納豆をつくるのに大切なものでした。相良からくる塩は掛川・森・秋葉・水窪・信州へと運ばれるので、秋葉街道とも信州街道とも言われました。



秋葉常夜燈



相良から分岐して横須賀往還と相良往還が板沢で合流します。子隣からはトンネルができる前は少林寺脇から旧上内田幼稚園のわき道を抜けて板沢にでました。そこは、昔ドンドン原と言って広い川の荒れ地の竹ぼさらで、死んだ馬を埋葬したといひます。また、板沢には『川岸(かし)あげ』という家があります。聞くところによると、昔、ドンドン原という海の如き川が流れていた頃、交通が困難な為、荷物の運搬を助ける人夫をしていたという事です。従って『荷仕上げ』または『岸上げ』とも言ったそうです。

学校の北に塩屋がありました。明治初年から塩を売り、明治18年に専売特許条例が制定されて、代々昭和50年頃まで売っていました。また、上板沢へ向かう途中には曹洞宗寺院の松奥山福田寺があり、その前の坂を「暗闇坂」と呼びました。道の両側には樹木が生い茂っていたといひます。

板沢の荷継場の中心は福田寺門前あたりにあったと推定されています。福田寺の前には後藤喜四郎という腕の良い桶屋があったそうです。昔はどこの家でも味噌を造り、その味噌樽はこの人が専門に造ったと言われていひます。下屋敷の万九朗さんも桶屋であったといひます。(次のページへ続く)



暗闇坂

また、福田寺の前には「喜太郎屋敷」と称する昔の茶屋兼旅館の跡がありました。喜太郎屋敷は“下板沢の茶屋”と呼ばれていました。相良方面から魚を売りに来ていた喜太郎という男が、この土地を気に入り、角皆家から土地を借りて2階建ての茶屋を始めたらこれが大当たり、大繁盛したという話が残る店のことです。その隣にあわび問屋を営んだ角皆という家が残っていたと記されています。

昔、相良往還を通った人で足腰を悪くして行き倒れとなり、親切な家で助けられ厄介になったが全快せず、あまり長い間迷惑をかけては申し訳ないと言って、自ら穴を掘りその中で死ぬまで南無阿弥陀仏を唱えながら鐘をたいてこの世を去ったという人もあったといえます。

板沢には角皆(角替)という旧家が多く、大東町入山瀬の角皆(角替)と同族であると言われ、古文書などにもそれを裏付ける資料が残されていますが、板沢と下板沢の角皆(角替)は同族とは考えにくいようです。板沢の一族の家紋は「抱角」であるのに対し、下板沢の家々の家紋は表に「橘」裏に「抱角」をつかっているからです。

【参考文献・画像引用】 書籍「静岡県歴史の道 秋葉街道」／画集「塩と魚の道 秋葉街道スケッチ画帖」／「NEO ばんぶざん」静岡県中・西部地域の文化情報誌／郷土資料「相良街道を探る」／「信州遠山郷秘境の旅」ホームページ

板沢神社



寛永年間(1624年～1643年)に建てられ、建御名方命(タテミナカタノミコト)をお祭りしています。今の板沢は見渡す限り、整備された茶畑になっていますが昔は樹木がいっぱい茂った山林でした。イノシシやタヌキが多く、切り開いた田畑に精魂込めて作った作物も荒らされてしまい、苦勞の甲斐ありませんでした。

そんなとき旅人から「信州のお諏訪様のお札は、靈験あらたかで、お札をお祭りすれば田畑は荒らされなくなる」ということを聞いて、里人たちはいく晩も相談した結果、代表の人が行って信州諏訪大社のお札を頂いて帰ってきました。そして一つのお宮を立て諏訪大明神と言いましたが、明治4年に諏訪神社と名前を代え、昭和20年、板沢神社に代わりました。

福田寺



小学校の少し北にあるお寺、松奥山 福田寺(しょうおうざんふくでんじ)は曹洞宗のお寺で、江戸時代初め頃の慶安4年(1651年)に建てられたと言われています。明治の初めに龍頭院が中内田の分校として開設したのと同じように、この福田寺は板沢学校として板沢村・子隣村・岩井寺村の3か村の学校として開設されました。明治8年11月23日、この2分校が合併して共和学校となりました。

編集後記

昔、司馬遼太郎は「静岡県…何もありませんな…」と言いました。小説向きの派手な題材は少ないかもしれませんが、歴史を掘り下げてみると、実に辛抱強い真面目な人々の生活があったものだと感じられます。小説にも増して深く懸命に生きる人間の姿が見られ、今も当地に引き継がれていると思えてきます。

